

- 1) 絵の言葉を「あめのあ」のように復唱させる。
- 2) 母音「アイウエオ」の口の形をハッキリとやってみせ、意識して言わせる。
- 3) 構音(発音)の練習に焦点をしばり、きれいに言えるように練習。

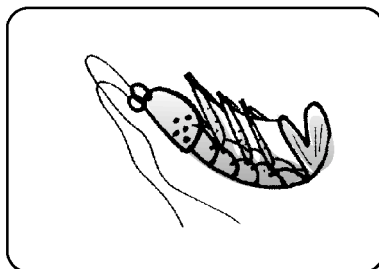
- a) 文字(かな)習得を支える下位能力として、語彙、音韻とともに構音(発音)の質が重要になる。
- b) 母音は構音の基礎。日本語の発音では母音の構音がしっかりしているときれいになる。日常的にこの点を意識させるとよい。

⑥ 「あさみ草」の「あ」を唱えよう。

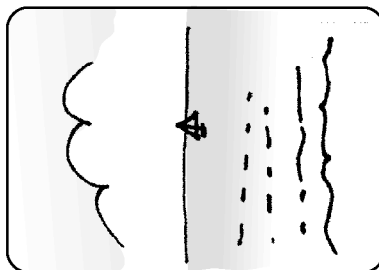
⑤ 「あさ」の「あ」



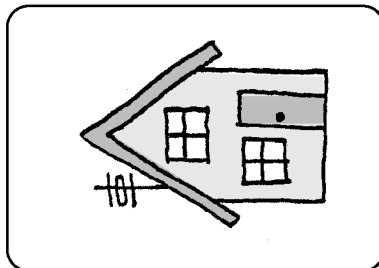
④ えびの「え」



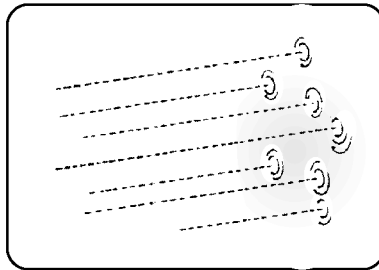
③ うみの「う」



② いえの「い」



① あめの「あ」



はっきり、げんきよく、いえるかな。